

第3回花巻市行政評価委員会会議録

1 開催日時

平成23年10月11日(火)

■しごと部会、くらし部会、人づくり部会 午前9時30分～午後12時

2 開催場所

花巻市南万丁目970番地5

花巻保健センター 2階 集団指導室、会議室

3 出席者

(1) 委員 15名

■しごと部会

影山部会長、宮澤委員、佐藤委員、高橋(セ)委員

■くらし部会

木村部会長、高橋(則)委員、伊藤(成)委員、永井委員、高橋(勝)委員

■人づくり部会

倉原部会長、瀬川委員、阿部委員、久保田委員、福盛田委員、菊池委員

(2) 事務局、施策及び事務事業担当課

4 議題及び報告事項

部会ごとに評価対象の施策及び事務事業の評価を行った。

■しごと部会

◆施策：空陸交通ネットワーク高度利用による企業誘致の推進

【主な意見】

- ・成果指標における事業所数は、種類別に細分化するとともに、雇用人数等も掲げて分析すべきではないか。
- ・年ごとにターゲットを決める等、状況に応じたターゲットの絞り込みが必要だと思ふ。
- ・成果指標の目標値「4事業所」が妥当かどうか疑問。再検討が必要であると思ふ。
- ・目標達成度の評価にあたって、雇用面や経済面における効果も付加すべきではないか。
- ・人材育成の面における各教育機関との連携、6次産業化の推進に向けた農業分野との連携が重要であると思ふ。
- ・それぞれの工業団地について、どういった特徴があり、どういった業種に適しているかという視点で見直しを行い、企業が使いやすいように、柔軟に対応してい

くことが必要である。

- ・既立地企業へのフォローアップが大事である。そのことが関連企業の誘致へとつながると思う。

○事務事業：企業誘致推進事業

【主な意見】

- ・ダイレクトメール、アンケートで興味を示したかどうかだけでなく、その背景にある要因を掴むことが大事である。
- ・数値化できない部分を評価できるような項目があった方がよいのではないか。
- ・草刈りなどの環境整備だけでなく、人に重点をおき、職員の環境を充実させることも大切である。
- ・施策の重要性を踏まえて人員の見直しを検討し、増員して対応していくべきである。
- ・「増員」という視点もあることから、評価結果の選択肢を見直す必要があるのではないか。
- ・シート全般として、評価結果の選択肢が二者択一式となっているが、段階的な区分があった方がよいのではないか。
- ・ダイレクトメールより対象を絞った「face to face」での企業訪問活動の方が効果が高いと思う。
- ・マスコミを活用して市の特徴的な取り組みをPRすることも大事である。
- ・企業訪問において、人材育成の面をもっとPRしていくべきである。

○事務事業：企業立地環境整備事業

【主な意見】

- ・活動指標に、対象企業とのヒアリング数、宣伝・PR活動数、マーケティング資料提供数等も加えるべきではないか。
- ・成果指標に、市内への工場進出の累計数を加えるべきではないか。
- ・企業との人的なつながりなど、数量化できない部分もある。そういった部分をどう評価していくかが検討課題であると思う。
- ・二者択一式に問題があるように思う。

■くらし部会

◆施策：快適で便利な道路網と公共交通体系の構築

【主な意見】

- ・旅行先では交通の利便性が重要になってくる。観光客の足の確保など観光面での新規事業を企画するとよいのではないか。
- ・予約乗合タクシーは、十分な周知が必要である。また、アンケート等により、より利用しやすいデマンド交通のあり方を検討してほしい。

- ・アンケートは現状と異なる調査結果が出る場合もあるので、市民の意見集約は難しい部分がある。アンケート方法の工夫が必要である。
- ・JRと市内を走るバスの連絡がうまくいけば利便性が高まるのではないかな。

○事務事業：公共交通確保対策事業

【主な意見】

- ・広報等による周知を行うことで、利用者の増加が図られる。
- ・自主運行バス・予約乗合タクシーの運行については、一便あたりのバスの利用者数の基準などを決めて見直しをしていく必要がある。
- ・ふくろう号の利便性を高めることで利用の増が期待できる。

○事務事業：空港利用促進事業

【主な意見】

- ・空港は利用しやすくなったが、高速道路を降りてからどちらに進めばいいかわからなくなるときがある。空港までのアクセスが改善されればさらによくなる。
- ・秋田空港の韓国便のような、海外との定期就航便を進めてはどうか。
- ・現在の航空会社とは別の航空会社の参入が必要である。
- ・羽田便の復活の必要性が、市民、県民に理解されていないのではないかな。ハブ空港と繋がることの大きなメリットについて、まず市民、県民に理解してもらうことが必要と感じる。
- ・羽田空港は拡張され、海外線に接続できるようになり、とても便利になった。今後も羽田空港の利便性は増していくと思うので、羽田便の必要性を市民に周知し、羽田便復活を推進してほしい。

■人づくり部会

◆施策：創造性豊かな芸術文化の振興

【主な意見】

- ・芸術文化の成果指標を数値化するのは難しいと思うが、目標値は他市との比較等による目安が必要ではないかな。
- ・指標「地域の歴史や文化に触れている市民の割合」は、文化財を一度訪れたり見たりすれば、歴史や文化に触れているということになる。リピーターを増やすことが大事と思われ、この指標の設定で良いのか疑問である。
- ・施設の入場者数や地域での文化祭参加者数を指標にしてはどうか。
- ・芸術文化は大きなテーマである。指標「日頃から芸術文化活動に親しんでいる市民の割合」の平成27年度目標25%の設定は高すぎるのではないかな。
- ・芸術文化の範囲をどうとらえるかが課題ではないかな。
- ・厳しい財政状況のなか、他事業との連携が重要となってくる。一事業の評価だけでなく、同様の事業も含めて評価するとよいのではないかな。

- ・他事業との連携が見えてこない。観光分野のほか、年代別の分析を行い福祉等の分野と連携できるのではないか。
- ・地域の誇り、郷土愛に繋がる重要な施策であり、小中高と連携して進めるべきである。
- ・平成24年度の新渡戸生誕150周年は大々的にイベントを行うべきではないか。市民がついていけない。

○事務事業：芸術文化推進事業

【主な意見】

- ・成果指標「市民芸術祭参加者数（出展者数）」について、出展者数だけで良いのか。来場者は含めなくて良いのか。
- ・文化会館自主事業については、来場者の満足度と来場者数の両面から評価すべきと考える。
- ・事務事業シートでは未達成とあるが、施策シートの貢献度評価では目標どおりとあり、矛盾している。
- ・観光関係、教育委員会関係等の資料がないため、連携・統合の余地がないか判断できない。評価できる資料が必要。
- ・文化団体協議会事業補助について、合併前の基準で補助しているが、参加者1人に対する費用にばらつきがある。合併から5年たっており見直すべきではないか。
- ・参加者1名に対する費用の資料が欲しい。
- ・成果指標は妥協の産物であってはならない。指標を設定できないのであれば事業をしない方が良い。成果指標あつての事業ではないか。
- ・意見・助言をするうえで、評価できる詳細な資料が欲しい。（他の施策事業との連携、受益者に対する費用の比較）

○事務事業：民俗芸能伝承支援事業

【主な意見】

- ・民俗芸能伝承の施策のなかに「文化観光資源」という表現は違和感がある。
- ・今回の資料では判断できない部分がある。他の詳細な情報を含めて判断すべきである。（効率性評価、公平性評価）

6 傍聴人数

0人

7 問い合わせ先

花巻市政策推進部企画調整課

電話番号：0198-24-2111（内線212）